

エコアクション21 環境経営レポート 2020年

対象期間2020年1月1日～2020年12月31日



発行日 2021年2月22日

 平沢電機株式会社

目 次

1 組織の概要

- 1) 事業者名、所在地、事業の概要 事業の規模
- 2) 沿革
- 3) 設備概要

2 対象範囲

- ・環境経営組織図

3 環境経営方針

- ・環境経営理念 環境経営方針

4 環境経営目標

- 1) 中期環境経営目標
- 2) 2020年環境経営目標

5 環境経営計画

6 環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）

7 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価

（実績には二酸化炭素排出量を含む）、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

- 1) 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価
- 2) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

「環境法令等登録書兼チェック表」より

9 代表者による全体評価と見直し・指示

マネジメントレビューより

10 その他の取り組み、トピックス

- ・2020年健康優良法人
- ・地域未来牽引企業
- ・総合防災訓練

1 組織の概要

1) 事業者名、所在地、事業の概要、事業の規模

- (1) 事業者名 平沢電機株式会社
代表者名 代表取締役 平澤 敏樹 (2018/12/1より)
- (2) 所在地 本社・工場 〒399-4431長野県伊那市西春近2900番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 事務局 総務部門長 浦野 安明
担当者 同上
連絡先 電話 0265-72-4136 F A X 0265-76-1990
ホームページ <https://www.hirasawadenki.com/>
e-mail info@hirasawadenki.com

(4) 事業の規模等

- 1) 創業 昭和35年7月
2) 事業規模 右表
3) 資本金 1050万円

活動規模	単位	2018年	2019年	2020年
生産量	百万円			
売上高	百万円	538	479	437
従業員	人	58	60	60
床面積	m ²	7260	7260	7260

(5) 事業内容

アルミを中心とした金属の精密切削加工、組立・検査

2) 沿革

- 昭和35年 日立家電販売修理を業務として平沢電機株式会社を設立
昭和40年 工作所設立、オリンパス製品加工開始
昭和43年 オリンパス顕微鏡組立開始
昭和49年 オリンパス光学、カメラ組立開始
昭和59年 本社工場（延べ床面積3,300m²）建設工作所・中央工場を併合集約
昭和63年 姉妹会社(株)アジアエレクトロニクス設立
平成 1年 信濃特機(株)子会社の天竜特機(株)を引き継ぎグループ3社とする
平成 2年 資本金1,050万円に増資
平成 7年 本社工場南側増築工事完了
平成 9年 本社工場北側増築工事完了
平成12年 ISO9001取得
平成17年 1F北側工場改築（延べ床面積5,980m²）
平成18年 環境 エコアクション21取得
平成19年 北側新工場建築（5軸加工機専用）（延べ面積7260m²）
平成20年 厚生労働省快適職場認定
平成21年 エコ通勤優良事業所認証
平成25年 長野県労働局長奨励賞受賞
平成27年 エコアクション21 登録・認証10年継続事業者表彰
令和 1年 A Mシステムズ（株）業務提携
令和 2年 JIS Q 9100 取得（ISO 9001:2015 移行済）

3) 設備概要

5cmから5mまでのアルミの切削加工を得意としております

主要設備一覧/Major Machine List

2021年2月現在

種類/Category	メーカー/Maker	形式/Type	移動量/Distance X・Y・Z(mm)	特徴/Features	台数 /Number
マシニングセンタ/MC ★	安田工業/YASUDA	YBM-1200N ①	X3000 Y2100 Z1500	横形 4パレット仕様/ Transversal 4 Pallets	1台/1ea
	新日本工機/SHIN NIPPON	RB-350F ②	X8000 Y3500 Z1700	門形 5軸/Gantry 5 Axis	1台/1ea
	東芝機械/TOSHIBA MACHINE	MPF-3140DS	X4000 Y3100 Z715	門形/Gantry	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	a51	X560 Y560 Z560	横形 8パレット仕様/8 Pallets	1台/1ea
2017年9月新規導入★	牧野フライス/MAKINO	a51nx ③	X560 Y640 Z640	横形 立体3段パレット仕様/ 3 Decker Pallets	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	A55	X560 Y560 Z560	横形 8パレット仕様/8 Pallets	1台/1ea
★	牧野フライス/MAKINO	a81	X900 Y800 Z1020	横形 8パレット仕様/8 Pallets	1台/1ea
2014年10月新規導入★	牧野フライス/MAKINO	a61nx-5E ④	X730 Y730 Z680	横形5軸立体3段パレット仕様/ 5 Axis 3 Decker Pallets	1台/1ea
2018年12月新規導入★	牧野フライス/MAKINO	a500Z ⑤	X730 Y750 Z500	横形5軸立体3段パレット仕様/ 5 Axis 3 Decker Pallets	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	FNC156	X1500 Y600 Z560	立形/Vertical	1台/1ea
	牧野フライス/MAKINO	GN1712	X1700 Y1200 Z700	立形/Vertical	1台/1ea
NC旋盤/NC LATHE	ツガミ/TSUGAMI	NU4Y	X135 Y50 Z190		3台/3ea
★	ヤマザキマザック/ YAMAZAKI MAZAK	INTEGREX200-III S	X580 Y160 Z1045		1台/1ea
★	ヤマザキマザック/ YAMAZAKI MAZAK	INTEGREX300-III S	X630 Y230 Z1585	背面加工可能/ Back Face Processing	1台/1ea
	ヤマザキマザック/ YAMAZAKI MAZAK	INTEGREX300Y	X580 Y210 Z1095		1台/1ea
	森精機製作所/MORI SEIKI	ZL-250MC	X235 Y170 Z615		1台/1ea
NCフライス盤/NC MILLER	牧野フライス/MAKINO	AEV-85	X850 Y500 Z400		1台/1ea
三次元測定機/3 Dimensional CMM ★	ミットヨ/MITUTOYO	Bright-Apex1220	X1205 Y2005 Z1005		1台/1ea
	ミットヨ/MITUTOYO	CRYSTA-ApexS9106	X905 Y1005 Z605		1台/1ea

★・・・主要設備/Key Machine

CAD/CAM情報

使用しているCAD/CAMソフト

Using CAD/CAM software

- VERICUT (CGTech)
- AutoCAD (AUTODESK)
- GATIA V5 (Dassault Systems)
- NCVIEW (Cimple Tech)
- CAM-STAFF (SOFTECH)
- Mastercam (CNC Software) 3台/3ea
- SolidWorks (Dassault Systems) 3台/3ea

①



②



③



④



⑤



2 対象範囲

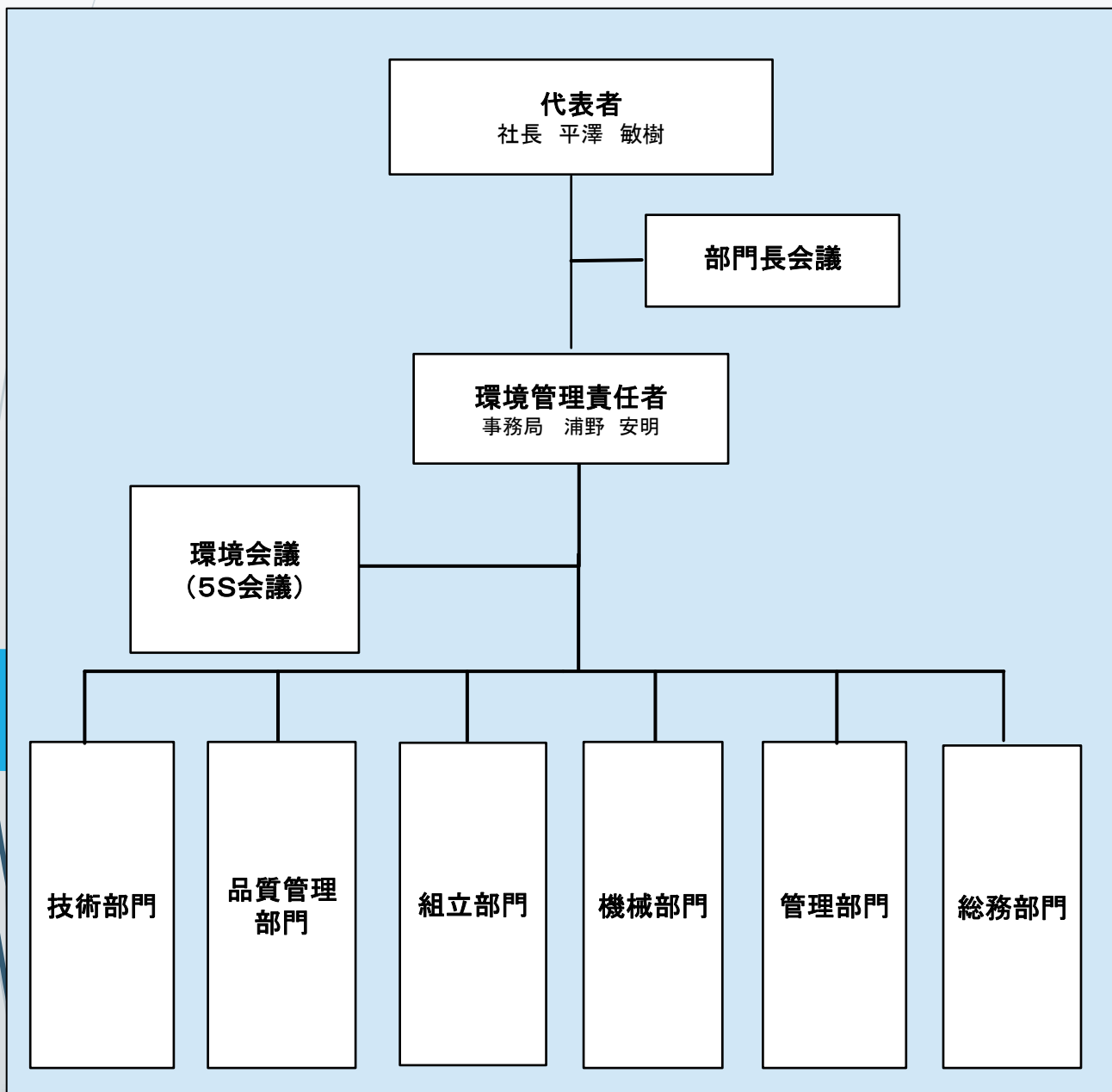
対象期間： 2020年1月1日～2020年12月31日

発行日： 2021年2月28日

対象範囲： 長野県伊那市西春近 2898番地～2900番地にある平沢電機株式会社の所有するすべての土地・建造物とそこで働く全従業員が対象組織であり、その組織のすべての活動をもってエコアクション21に取組み、環境経営システムを構築、運用、維持するものとする。

平沢電機株式会社は以下の組織に基づき環境活動を行っている。

E A 21環境経営組織図



＜平沢電機株式会社 環境経営方針＞

環境経営理念

自然環境に優れたこの地に存在する私達 平沢電機株式会社は、この豊かな自然環境に感謝と誇りの念を持ち、一人ひとりが自主的な環境保全の意識を持って環境負荷低減に向けた活動を行い、人と地球にやさしい工場作りを目指します。

環境経営方針

- 1.適用される環境関連法規等や当社が約束したことを遵守します。
- 2.製造部門での品質安定化・製造工程短縮化によって二酸化炭素排出量・使用化学物質・廃棄物・水の使用量の削減、及び省資源の推進をはかります。
- 3.事業活動によって生じる廃棄物のリサイクル化に取り組みます。
- 4.環境や資源に配慮した製品や原材料調達を心がけます。
- 5.水質汚濁の防止に努めます。
- 6.全従業員に朝礼、会議、研修、掲示等でこの環境方針を周知・理解させ、環境に関する教育訓練を行います。
- 7.従業員にエコ通勤をすすめ、社用車でのエコ運転の実施に努めます。
- 8.経営における課題とチャンスを考慮して環境経営目標を定め、それに取り組み、定期的に見直しをすることにより環境経営の継続的な改善を行います。

2018年12月25日

平沢電機株式会社

代表取締役社長 平澤 敏樹

4 環境経営目標

5 環境経営計画

1) 中期環境経営目標（2019-2021）は以下の通り 計画を含む

環境目的	具体的目標	責任者/ 対象部門	基準年度 基準値	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績 1%減	2018年実績1%減	2019年実績1%減	2020年実績1%減
	冬季(12月～2月)を除いた エコ通勤の維持継続・エコ ドライブ実施(管理部門)	総務・管理部門長/ 全社	2018年目標値 +1日	30日/月以上	30日/月以上	30日/月以上
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務部門長・機械部 門長(廃油)/全社	各前年実績 1%減	2018年実績1%減	2019年実績1%減	2020年実績1%減
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
水源投入量削減	水源投入量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績 1%減	2018年実績1%減	2019年実績1%減	2020年実績1%減
	使用禁止物質の使用禁止 使用化学物質削減管理	管理・製造部門長/ 管理・製造部門	維持 部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理部門長/ 総務・管理部門	活動維持	各部門目標	各部門目標	各部門目標
	売上・利益UP	総務・管理・ 技術各部門長/ 同部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
製品への環境配慮 その他	工程時間削減・環境負荷 削減の工夫	製造・技術部門長/ 製造・技術部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械部門	品質目標と同じ	各部門目標	各部門目標	各部門目標
				3Sの徹底、不良発生原因調査・対策検討実施		

2) 2020年環境経営目標

環境目的	具体的目標	責任者/対象	目標値等	2020年の主な行動計画
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績 1%減	①デマンドコントローラー・スマートクロックによる監視・管理 ②エアコン稼働調整 ③節電設備検討 ④省エネ委員活動 ⑤節電表による管理継続
	冬季(12月~2月)を除いたエコ通勤の維持継続 エコドライブ実施(管理部門)	総務・管理部門長/ 全社	30日以上	①エコ通勤呼びかけ、活動報告掲示 ②駐輪場整備・自転車点検整備等 ③ノーマイカーウィーク参加 ④社用車のエコドライブの実施
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務・機械部門長/ (廃油)/全社	前年実績1%減 (ゴミ185.38t/月以下) (廃油1.88t/月以下)	①リサイクルゴミ仕分け徹底呼びかけ ②月ごと結果発表掲示 ③コピー両面使用 ④電子媒体促進、配布書類削減 ⑤廃棄物削減把握 ⑥油漏れ対策
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	①予知保全を考慮した各種設備備品日常・定期点検の実施 ②整備点検教育の実施 ③各種精度点検の実施 ④レベル点検 ⑤設備保全技能教育
水源投入量削減	水源投入量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績1%減 (97.76t/月以下)	①毎月使用量内訳再把握 ②水漏れ点検 ③生活排水の節水呼びかけ ④月使用量のグラフ作成掲示
化学物質使用量削減	使用禁止物質の使用禁止 使用化学物質削減管理	管理・製造部門長/ 管理・製造部門	維持 部門目標	①使用禁止物質の含有量調査(客先調査協力時)記録(管理部門) ②新規溶剤等購入時にSDS取得 ③主要溶剤・切削油管理・削減(製造部門)
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理部門長/ 総務・管理部門	活動維持	①グリーンサプライヤーからの購入維持 ②グリーン調達基準に基づく購入継続
製品への環境配慮 その他	売上・利益UP	総務・管理・技術各 部門長/ 同部門	部門目標	①新規品の取り込み、新規開拓 ②材料費の見直し ③経費分析 経費節減
	工程時間削減・環境負荷削減 の工夫	製造・技術部門長/ 製造・技術部門	部門目標	①工数把握 加工時間短縮 ②工程管理表の有効活用 ③プログラム修正 ④工程削減治具作成 ⑤外段取りの構築 ⑥環境負荷削減の工夫・検証
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械部門	27万/月以下	①不良集計表の作成・掲示 ②不良原因調査・対策実施 ③不具合対策表・不良損金報告書作成

6 環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）

1 排出量削減

- ① デマンドコントローラー・スマートクロックによる日々の電気使用の監視・管理と電力契約の切り替えによる電気料金削減（総務部門）
- ② 省エネ委員活動-----毎日の節電内容を記録、結果を部門毎に全社掲示（全部門）
- ③ 設備長期使用・故障対策活動のレベルアップに設備保全技能教育を機械部門の全管理者が受講し技能検定1,2級取得（社長・生産部門）
- ④ 節電設備推進--水銀灯や蛍光灯のLED化の推進（総務・技術部門）
- ⑤ 毎月月初に電気使用量とCO2排出量のグラフを全社掲示（総務部門）
- ⑥ 長野県緑の募金への寄付 令和2年 5,882円（総務部門）

2 廃棄物排出量削減

- ① リサイクルゴミ仕分け徹底と可燃ゴミ目標管理・グラフ掲示（総務部門）
- ② 配布書類削減のため各種会議でのプロジェクター利用推進（総務部門）
- ③ 電子媒体促進---公的機関提出物関係電子申請一部移行（総務部門）
- ④ 廃棄切削油把握削減---削減目標管理、グラフ掲示（機械部門）
- ⑥ 油漏れ対策----職場の3S・機械メンテの徹底と修理等を削減（機械部門）
- ⑦ 予知保全を考慮した各種設備備品日常・定期点検の実施（技術部門）
- ⑧ 整備点検教育の実施/各種精度点検・レベル点検実施（機械部門）
- ⑨ 設備保全技能教育の奨励---令和2年-機械保全技能士受検者 1級3名 2級6名（機械部門）

3 水源投入量削減

- ① 毎月使用量内訳把握と管理 生活使用水、機械職場4箇所の使用量管理、月次使用量のグラフ作成掲示（総務・機械部門）
- ② 水漏れ点検の毎月実施（期間内水漏れ無し）（総務部門）
- ③ 生活排水の節水呼びかけ推進(全部門)

4 化学物質使用量削減

- ① 使用禁止物質の含有量調査（管理部門）
- ② 化学物質購入時にSDS取得とSDS管理（総務・使用部門）
- ③ 主要溶剤の管理削減（組立部門）

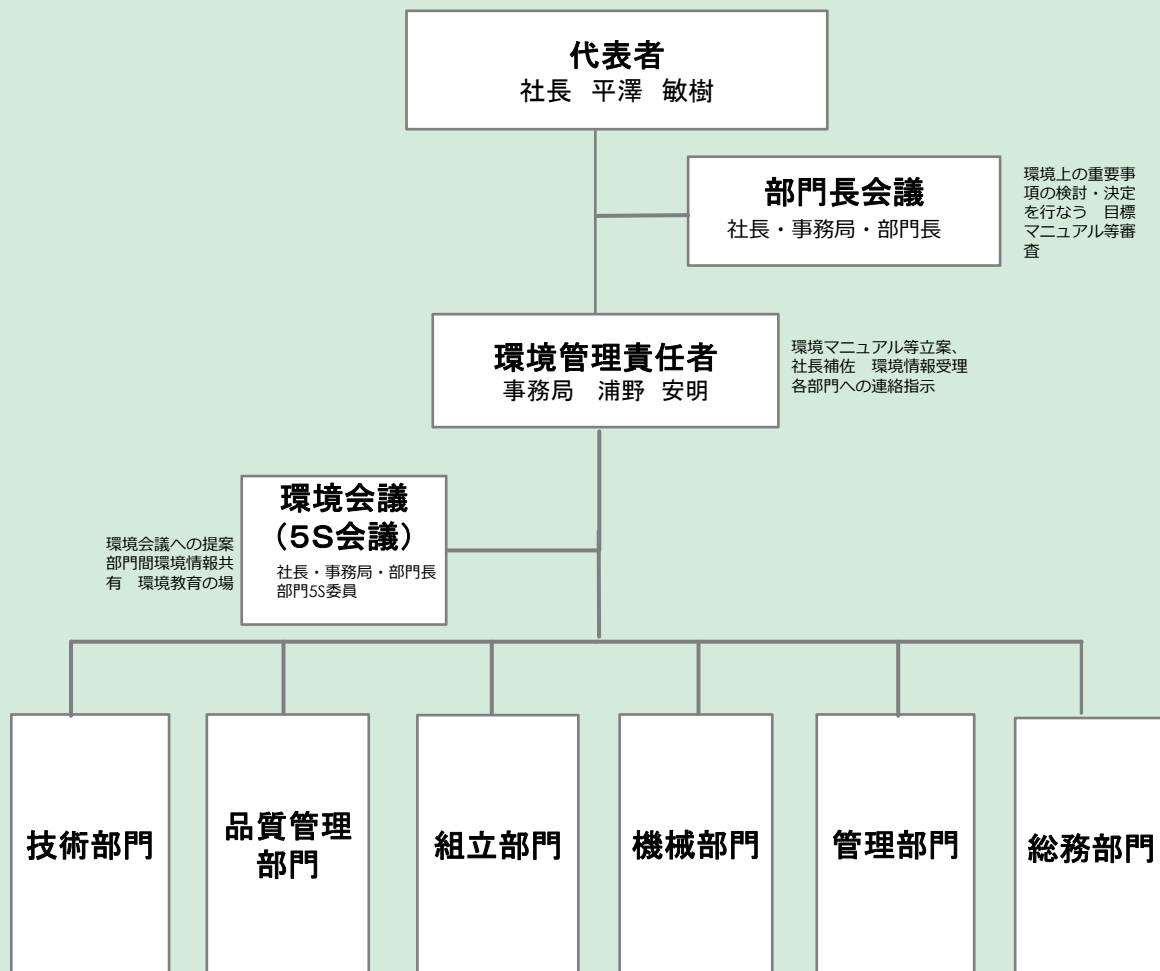
5 グリーン購入の実施

- ① グリーンサプライヤーからの購入維持とグリーン調達基準に基づく購入継続中（総務・管理部門）

6製品への環境配慮その他

- ①新規品の取込み、新規開拓---新規品取り込み 前年比+5%以上（管理部門）
- ②新規品の取組-----新規品の制作 4件（技術部門）
- ③経費分析経費節減売上増-----助成金利用、資金運用（総務部門）
- ④工数把握 加工時間短縮-----機械の変更、専用治具の作成（機械・技術部門）
- ⑤工程管理表の有効活用-----専用ソフトを使って工程チェック、加工工程の
作業者各自が消し込み作業で工程遅れの明確化（機械部門）
- ⑥プログラム修正-----随時実施（機械部門）
- ⑦工程削減治具作成-----治具の見直しと複数工程対応治具作成毎月5件
以上作成（技術部門）
- ⑧組立工程削減-----組立工程時間の削減のための改善の実践
（組立部門）
- ⑨外段取りの構築----- シミュレーターチェック実施と作業標準書作成
（機械部門）
- ⑩不良損金削減-----不良集計表の作成・掲示と不良原因調査・
対策実施、不具合対策表・不良損金報告書作成
3Sの徹底（品質管理・機械部門）

実施体制



部門長（5S委員）は 全社目標のもとに作成した部門目標・計画に沿った部門内環境活動の実践

7 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価 (実績には二酸化炭素排出量を含む)、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1) 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価

2020年度環境経営目標進捗表

環境目的	具体的目標	責任者/対象部門	目標値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	対象期間累計平均値 達成状況
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量前年比1%減	総務/全社	691478kg-co2/年 昨年比1%以下 (99以下)	90.4	95.4	100.9	100.1	80.8	75.4	66.7	72.6	78.2	84.0	79.0	75.3	83.6
	エコ通勤の維持継続/エコドライブの実施	総務・管理部門長/全社	エコ通勤月平均 30日以上(1・2・ 12月除く)	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃棄物排出量削減	可燃ゴミ削減・廃棄物管理	総務部門長・機械部門長/全社	ゴミ185.38kg/月 廃油1.88t/月以下	155 1.9	210 0	400 3.8	140 1.8	215 2.8	273 1.5	160 1.8	120 0	86 1.8	150 1.8	170 2.0	180 1.8	188.175
	機械・備品の長期使用	各部門長/全社	各部門目標	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	36-36
水源投入量削減	水源投入量維持・管理	総務部門長 機械部門長/全社	97.76 ^h /月以下	93	94	94	91	66	71	64	53	63	68	58	56	72.58
化学物質使用量削減	取引先使用禁止物質の使用中止/ 化学物質削減	管理部門長 製造部門長	活動維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持
グリーン購入の実施	グリーン購入維持	総務部門長 管理部門長	活動維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持
製品への環境配慮 その他	売上・利益UP(経費削減)	管理・総務・技術	部門目標	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	36-36
	工程時間削減・環境負荷削減の 工夫	製造部門長 技術部門長	各部門目標	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	48-48
	不良損金削減	品質管理部門長	27万/月以下	215,000	269,000	129,000	144,046	58,730	1,288,201	134,770	77,340	142,664	57,117	99,431	193,799	233,932

○は達成・継続中 △は目標値10%未満 ×は10%以上開きがあり未達 -は評価不能 他各目標達成部門(上段左の数)が8割以上○ 5割以下× 他△ は目標対象外月

*** 2020年環境経営目標の達成状況報告 ***

----目標はほぼ達成だがコロナ禍の影響による生産活動低減の影響が大きい----

環境経営目標10項目に対して目標未達は「可燃ゴミ削減」のみで、ほぼ達成できた。

2020年後半よりコロナ禍の影響を受けて生産活動が大きく落ち込んだ事(電気使用量の低下、休業)がそのまま環境負荷の削減となり二酸化炭素の削減、水源投入量の削減が目標達成できた事は素直に喜べない。各部門毎に続けている「工程時間削減」や「売上利益UP(経費削減)」の活動はエコアクション21の活動のキモであり、これが今年目標についても達成出来たのは評価したい。

(環境管理責任者)

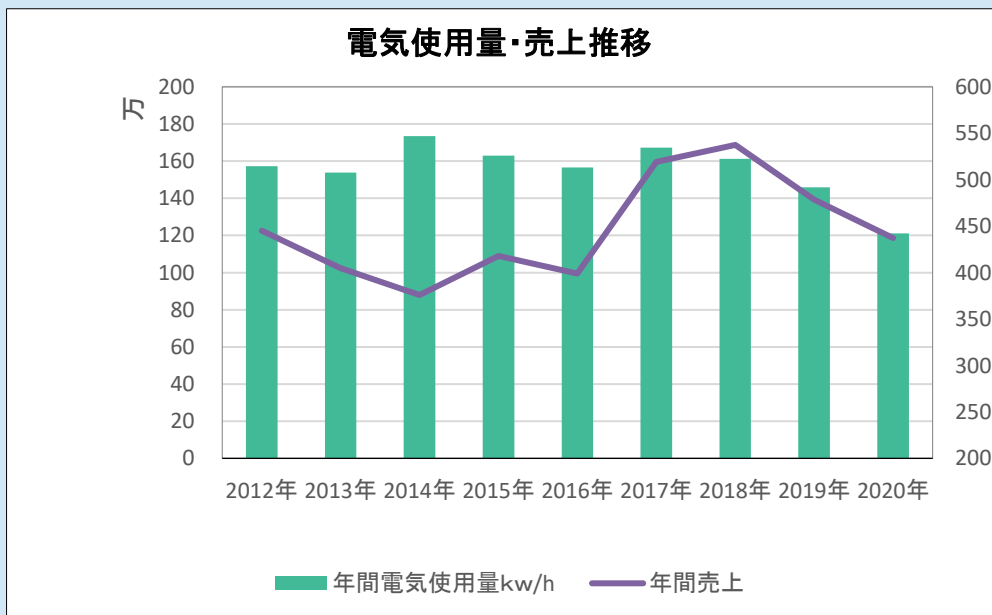
1) 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価 (個別)

1 二酸化炭素排出量の削減について

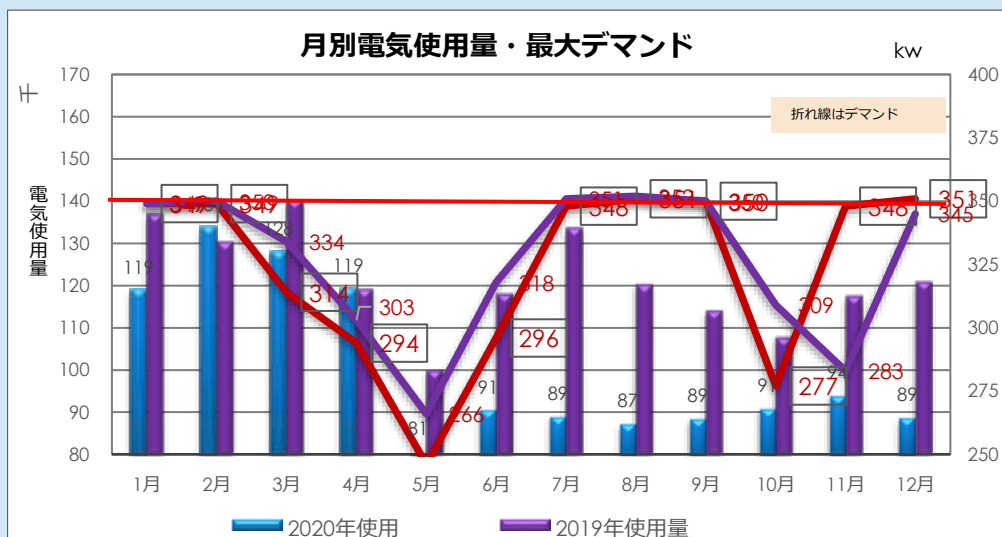
①二酸化炭素排出量691,478kg-co2以下-----584,199kg co2 達成



※排出係数0.447 (日本テクノ(株))
平成28年度 調整後



※当社の場合、二酸化炭素排出量削減の中心は電気の使用量削減であり、特に夏と冬のエアコン稼働が大きい。今年はコロナ禍により設備稼働時間がダウンしたため電気量削減も同じだけの削減となり、1%削減目標に対し16%の大幅削減となった。



※電気使用量とデマンドについて
 デマンドは350kw/hを上限に昨年と同じ動きだった。電気使用量については5月以降はコロナ禍による生産低下に伴い、電気使用量は大きく減少した。
 これに伴う電気料金も11月までは電気料金変動制契約のため経費削減に寄与してきたが、12月は全国的な電気量不足により単価が上り変動制契約のメリットは出なかった。

②目標 エコ通勤日数 30日/月 以上 (冬季除く) ----42日/月 全月達成

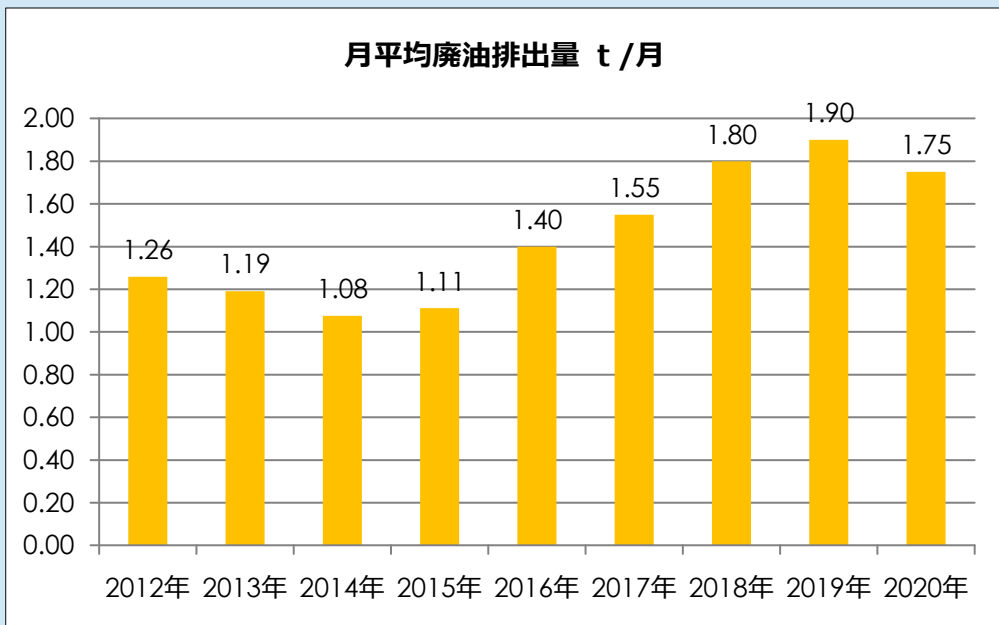
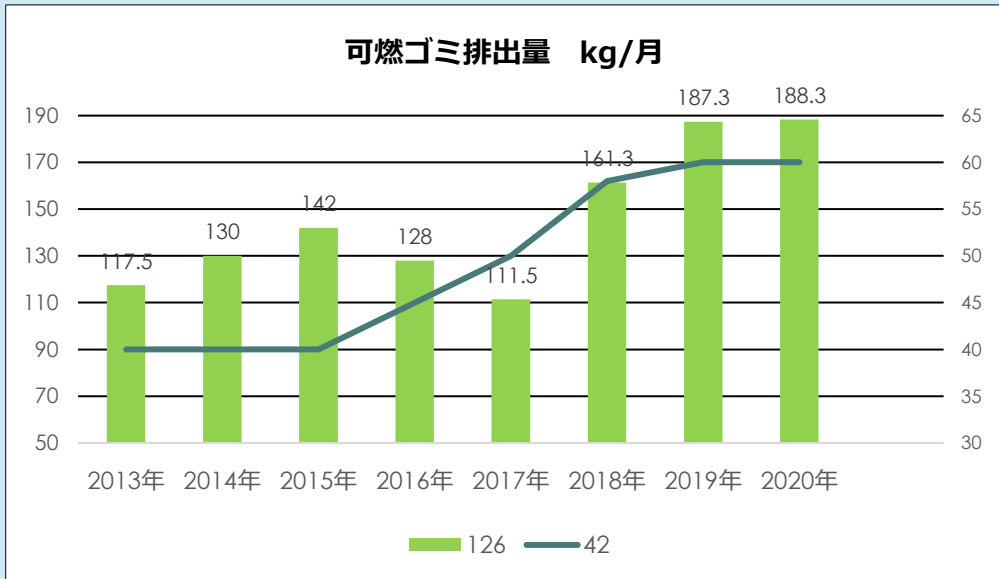


※9月には恒例の長野県主催の「信州スマートムーブ通勤ウィーク」に参加した。
 エコ通勤日数は大きく寄与していた従業員が退社や車通勤への変更があり減少した。

2 廃棄物排出量削減

①可燃ゴミ185.38kg/月以下-----188.3kg/月 目標未達

②廃油 1.8 t /月以下 -----1.75t/月 目標達成



※可燃ゴミは3月に社屋周りの濡れた落葉（300kg）をそのまま処理したため量が増加してしまった。
生産活動によるゴミは増大しておらず問題は無い。
また廃油に関してはコロナ禍による生産低下に伴い排出量も削減した。

3 水源投入量削減 数値目標 97.76 t/月以下 ----- 72.6 t/月 達成



※一昨年より機械部門での月々の水の使用量の報告が機械職場内4箇所加算メータ設置によりエリア毎の正確な使用量の把握が出来ている。

水源投入量はコロナ禍による生産低下に伴い減少した。

4 化学物質使用量削減 目標 取引先使用禁止物質の使用中止 ----- 達成

製造部門・管理部門が維持継続中

5 グリーン購入の実施 目標 グリーン購入の維持 ----- 達成

総務・管理部門が維持継続中

6 製品への環境配慮

①工程時間削減又は合理化による負荷・無駄の削減 ----- 達成

製造部門・技術部門で活動

②売上・利益アップ ----- 達成

3部門対象（管理・総務・技術）で活動

③不良損金削減 27万/月以内 ---23万円/月 達成

品質管理 機械部門---品質、安全衛生、環境からのアプローチをかけ重点目標として活動してきた。特に3Sの徹底

2) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2021年 環境経営計画書

環境目的	具体的目標	責任者/対象	目標値等	2021年の主な行動計画
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績1%減	①デマンドコントローラー・スマートクロックによる監視・管理 ②エアコン稼働調整 ③節電設備検討 ④省エネ委員活動 ⑤節電表による管理継続
	冬季(12月～2月)を除いたエコ通勤の維持継続・エコドライブ実施(管理部門)	総務・管理部門長/ 全社	30日以上	①エコ通勤呼びかけ、活動報告掲示 ②駐輪場整備・自転車点検整備等 ③ノーマイカーウィーク参加 ④社用車のエコドライブの実施
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務・機械部門長 (廃油)/全社	前年実績1%減 (ゴミ186.34t/月以下) (廃油1.73t/月以下)	①リサイクルゴミ仕分け徹底呼びかけ ②月ごと結果発表掲示 ③コピー両面使用 ④電子媒体促進、配布書類削減 ⑤廃棄物削減把握削減 ⑥油漏れ対策
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	①予知保全を考慮した各種設備備品日常・定期点検の実施 ②整備点検教育の実施 ③各種精度点検の実施 ④レベル点検 ⑤設備保全技能教育
水源投入量削減	水源投入量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績1%減 (71.86t/月以下)	①毎月使用量内訳再把握 ②水漏れ点検 ③生活排水の節水呼びかけ ④月使用量のグラフ作成掲示
化学物質使用量削減	使用禁止物質の使用禁止 使用化学物質削減管理	管理・製造部門長/ 管理・製造部門	維持 部門目標	①使用禁止物質の含有量調査(客先調査協力時) 記録(管理部門) ②新規溶剤等購入時にSDS取得 ③主要溶剤・切削油管理・削減(製造部門)
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理部門長/ 総務・管理部門	活動維持	①グリーンサプライヤーからの購入維持 ②グリーン調達基準に基づく購入継続
製品への環境配慮 その他	売上・利益UP	総務・管理・技術各部門長/ 同部門	部門目標	①新規品の取り込み、新規開拓 ②材料費の見直し ③経費分析 経費節減
	工程時間削減・環境負荷削減の工夫	製造・技術部門長/ 製造・技術部門	部門目標	①工数把握 加工時間短縮②工程管理表の有効活用 ③プログラム修正 ④行程削減治具作成 ⑤外段取りの構築 ⑥環境負荷削減の工夫・検証
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械部門	25万/月以下	①不良集計表の作成・掲示 ②不良原因調査・対策実施 ③不具合対策表・不良損金報告書作成

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

最新の「環境法令等登録兼チェック表」の通り

2020/11環境法令等登録兼チェック表

適用法令	項目・条文	内 容	対象品・施設	チェック内容
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : H26. 6. 13改正 (H23. 4. 1 施行) 水銀に関する水俣条約 (H29. 8. 16)	1 2条2 (産業廃棄物保管基準)	1 保管場所の囲い、構造耐力安全であること 2 必要な事項を記載した掲示板60×60以上 3 保管場所からの産廃の流出等防止、保管場所の衛生管理	・ゴミ置き場 ・廃油置き場 ・危険物置き場	総務部門 1確認済 2確認済 (清掃) 3確認済
	12条3 (委託の基準) 12条の3 (産業廃棄物管理票)	運搬又は処分を委託する場合には収集運搬・処分を受けた業者に委託 1 産廃委託する場合種類ごと、運搬先ごと引き渡し時に必要事項を記載して manifests の交付とその写しの回収(90日、最終処分180日)回収出来ない場合の措置と報告義務 2 manifests (写し)の5年保管 3 manifests 発行状況の報告を毎年6月30日までに都道府県知事へ提出	委託契約書 許可証 manifests (管理票) manifests 報告書	確認済 1確認 2保管中 3提出済 (2020/5/26)
	12条7	産廃物の処理状況の確認と適正のための必要処置を講ずる(努力義務) 廃棄物保管場所の掲示板表示 「水銀使用製品産業廃棄物」	1F 廃蛍光管置き場	2020/11/18 電話で確認 2020/11/18確認
家電リサイクル法 H23. 6. 24改正	6条 (事業者の責務)	特定家電長期使用、排出抑制 廃棄の際、適切な引渡し・料金支払	テレビ・エアコン・冷蔵庫洗濯機	総務2017/11以降廃棄無し
小型家電リサイクル法 H25. 4. 1		可能な場合、対象物を分別して認定業者に渡す事	携帯電話・デジタルカメラ他	総務 2020年は該当無し
水質汚濁防止法 : H23. 8. 30改正	12条	特定施設ではない 排水基準に適合しない排水を排出禁止 (コンプレッサーのドレイン水の油水分離)	コンプレッサー2台 排水管理	業者点検実施済 継続中(月1回) 技術部門 問題なし
下水道法 : H26. 6. 13改正	12条の2	① pH9を超える処理液の場合は、水質汚濁防止法別表1の65酸又はアルカリによる表面処理施設に該当し、特定施設となる。(届出等必要) ② 下水道には下水道基準(pH9等)を超える排水を流さない。	パレル室 第二洗浄室 工場内洗面所	機械仕上 第二工場 ①現状該当無し ②パレル室は現在水のみ 第二工場は希釈して排水を実施中
騒音規制法 : H17. 4. 27改正	6条 (設置の届出) 伊那市環境保全条例 (12条)	特定施設を設置する場合市町村長へ届出 (コンプレッサー2台) 発生する騒音の規制 届け出のみ(伊那市) (70-65db以下)	コンプレッサー (37kw2台)	総務部門 届出済 2015. 03. 24 1台入替 2015/3/25届出済 入替分 2017/9 コンプレッサー9/13-37VARN年次点検済み

<p>消防法 H26. 6. 13</p> <p>危険物の規制に関する規則 H23. 2. 1</p> <p>危険物の規制に関する政令 伊那市条例</p>	<p>9条3</p> <p>第18条</p> <p>同省令</p> <p>14条3の2</p>	<p>指定数量以上の危険物があるか届出しているか</p> <p>①危険物標識の掲示 ②既設地下貯蔵タンクの流出防止対策等 2024/10/15まで対策実施する事</p> <p>定期に点検し、その点検記録を作成し、これを保存</p> <p>指定数量以下（1/5以上）届出（消防署）</p>	<p>地下タンクの石油 地下タンク</p> <p>地下タンク</p> <p>地下タンク</p> <p>少量危険物置場</p>	<p>総務部門 確認済 届出済</p> <p>①確認済 ②確認済</p> <p>2020/5/25 定期点検実施 保存確認</p> <p>届出確認</p>
<p>特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律： H14. 12. 13</p>	<p>2条</p> <p>5条 （排出量等の把握及び届出）</p> <p>14条</p>	<p>第一種指定化学物質等取扱事業に該当するか（第一種指定化学物質のいずれかを1年間に1t以上取り扱うか） PRTR制度より排出・移動量の届出（6月まで）</p>	<p>把握後判定</p>	<p>総務部門 非該当</p>
<p>フロン排出抑制法 H27. 4. 1</p>	<p>施行規則による</p>	<p>①機器の設置環境・使用環境維持保全点検・修理を行う作業空間の確保はできているか</p> <p>②簡易点検・定期点検の実施をする 簡易点検 1回以上/3ヶ月7.5kw未満 定期点検 1回以上/1年——50kw以上 1回以上/3年——7.5kw以上 50kw未満 点検整備記録の作成・保存</p> <p>③フロン漏洩時の措置 修理が終わりまで充填禁止 一定以上の漏洩は国へ報告義務</p> <p>④フロン充填・回収、製品の廃棄は「第一種フロン類充填回収業者」へ委託 必要書面の交付・保存をする</p>	<p>各所工場設置箇所</p>	<p>総務部門 設置部門</p> <p>①確認OK ②簡易点検実施済み3月ごと</p> <p>③漏洩無し</p> <p>④該当無し</p>

2020年11月18日現在の環境法令遵守状況をチェックし、法令に遵守していることを確認しました。

また過去3年間違反・訴訟の無いことを報告します。

2020年11月18日 総務部門長 浦野 安明

9 代表者による全体評価と見直しの結果

----- 2019年12月 マネジメントレビューより -----

2020年6月のJIS Q 9100認証取得に向け、全力で取組んでいただきたい。

JIS Q 9100認証取得をする上で、エコアクション21活動とオーバーラップする

活動を重点的に行う。

- 1)3S活動の継続、さらに置き場所の明確化と作業終了時に置き場所に戻っているか→整頓の監視
- 2)適切な照度の確保・電気料金の削減も考慮しつつ2020年中に作業用の光源をLEDに交換する。
- 3)設備の長期使用を目的に機械保全に関する知識・レベルを上げる

----- 結果報告 -----

予定通り2020年6月25日 JIS Q 9100 認証取得した。

- 1)3S活動は継続、毎月5S会議でクリーンパトロールの結果を報告しその後現場を確認している、整理整頓については改善活動を行い、資材置き場と品質管理室の区画変更、不良在庫処理を行なった。
- 2)適切な照度の確保のため品質管理室・3次元測定室・RB棟・機械設計室について照度計測を行ない、各部屋の照度アップをLED増設により対応した。
- 3)関係部門を中心に本年度は機械保全の技能検定に1級3名 2級6名が受検した。

10 その他の取り組み・トピックス

1 「2020健康経営優良法人」 認定

昨年2019年8月に従業員の心と体の健康づくりに取り組んでいくため「協会けんぽ長野県支部」が支援している「健康づくりチャレンジ宣言」をしました。

それからさらなるステップアップとして2020年度の経産省の「健康経営優良法人」認定に向けての活動をしてまいりました。

3月に「2020健康経営優良法人」の認定を受ける事が出来ました。今後も事業所全体で健康づくりに取り組むことを継続して行い2021年でも認定を受けられるよう努力していきます。また合わせて長野県SDGs登録を目ざし計画していきます。



2 「地域未来牽引企業」 選定

地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、および担い手候補である企業として経済産業省が選定する企業として2020年10月に選定されました。

6月に目標だったJIS Q 9100 を取得し、新たな分野である航空・宇宙・防衛産業への進出を目指しております。

これに向かって最新機械設備の導入、大手企業の品質管理システムへの対応のための教育を続行しています。

また参入に際して単純な部品加工業者からユニット業者になるため、より実践的なレベルアップが必要になってくることから多くの課題に挑戦してまいります。



地域未来牽引企業

3 10月に総合防災訓練等を実施

1 総合防災実施

2020年9月1日、1F 機械職場で旋盤NU4Y（6273）機械内でのボヤ火災が発生した。これに対して初期消火対応が充分出来ていなかったため、今回は同じ条件での正しい対応が出来るための訓練とした。

実際に火災報知器を鳴らし連絡経路の確認、また消火器を使った放水訓練には火災のあった旋盤の作業者を含め初期消火係2名と組立1名が参加した。

今回は水性消火器の使用となったが、機械での発火については必ず化学消火器を使用することを確認した。

いずれも毎年繰り返す事により、非常時の対応を確実にすることを目的とした。

合わせて例年同様地震後火災が発生した場合を想定した訓練と、油漏れ対応の訓練を実施した。

2 全体研修等実施（防災訓練後の集合研修として）

①新BCPについて、今回から感染症を追加した新規作成したものを説明

具体的には「感染症対策指示書」に従う。

災害時の安否確認の確認NTT災害ダイヤル171に一本化する

今年の従業員携帯カードの作成を行なった。

②エコアクション21活動状況報告、目標の進捗状況報告

③その他連絡 「健康優良法人2020」「地域未来牽引企業」について



防災訓練風景



油漏れ訓練



研修風景

